



より高度な臨床
より深い研究
より広い教育
より積極的な保健活動

地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

共に診る・共に支える地域医療



医療介護連携のこれから

平鹿総合病院 院長 齊 藤 研

平成30年度から、重要社会保障政策が目白押しで、「惑星直列」と云われる。具体的には、診療・介護報酬同時改定、第7次医療計画(5疾病5事業及び在宅医療)、第7期介護保険事業計画等である。医療と介護は、これまで以上に深く強い連携を要することになる。

例を挙げれば、「脳卒中、心血管疾患の臨床経過を踏まえた、急性期から回復期及び慢性期までの一貫した医療体制の構築」が求められる。何故なら、脳卒中は発症後1年で10%、5年で50%と高率に再発し、介護の原因疾患の第一位である。また、1年間で慢性心不全患者の約20～40%は再入院し、再発・憎悪による再入院と寛解を繰り返し、徐々に身体機能が悪化する。

さて、当院の地域包括ケア病棟の運用は、院内の急性期からの受入(postacute)である。7対1看護病棟がある医療機関は多くがこのパターンである。しかし、別の運用である、院外からの在宅療養患者等の受入(subacute)はまだ行っていない。本来は、役割の大きな要点の一つとして、後者も施行し、より在宅復帰支援等を行う機能が想定されている。理由は、在宅医療は急性病態を多く生じ、救急医療から見れば病院前医療でもある。地域包括ケアと救急医療は裏表(入口・出口)の関係にある。

もくじ

- 医療介護連携のこれから…………… 齊 藤 研 ①
- 連携医療機関のご紹介 ～西成医院～ …… 西 成 忍 ②
- 在宅医療連携推進係の取組み…………… 佐 藤 玲 子 ②
- 入退院支援センター設立にあたって…………… 佐 藤 京 子 ③
- 地域とのつながりを大切に…………… 大日向 久美子 ③
- Topics …… ④



西成医院
院長

西成 忍

連携医療機関のご紹介 ～西成医院～

横手市医師会では、往診や訪問診療などの在宅医療を進めており、同時に自宅や介護施設での看取りにも積極的に取り組んでいます。これらの取り組みを支えるためには、訪問看護や訪問介護など様々な職種の人達と連携が不可欠で、医師会と横手市行政とのタッグで多職種連携のための講習会も数多く開催しています。かかりつけ医がいない場合でも、往診や介護、認知症等で、困った時は横手市包括支援センターへ連絡して下さい。

一方で、病院勤務医の不足も切実になっており、開業医と勤務医との連携を密にしながら、患者さんの紹介や逆紹介などの情報交換や検査依頼も進めています。ここでの大事な役割を果たしてくれているのが各病院の地域連携室です。

西成医院でも在宅医療や自宅・介護施設での看取りには積極的に取り組んでいます。訪問診療や往診は休日以外の土曜日を含む午後を中心に行っています。施設の嘱託医も数ヶ所引き受けております。専門は外科ですが開業医なので何でも診ていますし、必要な場合は病院や他の医療機関にお願いしています。やはり地域連携室は大事な存在ですし、ケアマネさん達や訪問看護ステーションを始めとする多職種の方々との連携があってこそこの仕事になっています。



地域包括支援センター
在宅医療連携推進担当
副主幹（福）
主任介護支援専門員

佐藤 玲子

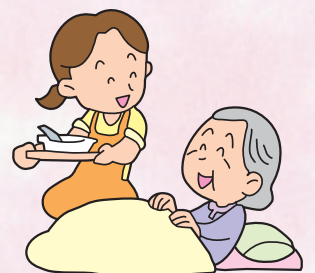
在宅医療連携推進係の取り組み

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、高齢になっても住み慣れた地域で尊厳をもって生活できる支援体制(地域包括ケアシステム)の整備が急務となっております。高齢になると医療と介護を必要とする方が急増します。その方々を支援するには医療と介護関係者が相互理解を深め、それぞれの役割りを適切に果たすことが重要になってきます。国が示す施策のひとつとして、当係での取組みに「在宅医療・介護連携推進事業」と「認知症総合支援事業」があります。

具体的には横手市医師会はじめ各事業所のご協力を得ながら、「多職種連携研修会」や「職種別研修会」、地域住民向けの在宅医療や在宅看取り等の啓発を目的とした出前講座を開催しています。また、高齢化により発症率が高まる認知症疾患への対策として、「認知症初期集中支援チーム」や「認知症地域支援推進員」の配置、「認知症ケアパス」の活用により進行状態に合わせた適切な医療やサービスが受けられる仕組み作りなどの事業を実施しています。

医療保険と介護保険の複雑な制度の中で、主人公である高齢者が迷うことなく自分の老いや病気に向き合って豊かな高齢化社会を生き抜くため、当係としても「一支援者」として医療・介護関係者の皆様とチーム意識を持ちながら役割りを果たしていきたいと思っております。

今後ともよろしくご協力をお願い致します。



入退院支援センター設立にあたって



平鹿総合病院
看護部長

佐藤 京子

当院は、超急性期・急性期・回復期の機能を持つ病院であり、疾病による後遺症や機能低下などにより在宅復帰に向けた支援が重要となります。地域包括ケアシステムという国の施策に基づき、外来から入院、退院までの支援はもちろん退院後の生活を不安なく過ごすことができるよう、病院から地域へとつなぐ支援体制として入退院支援センターを設立しました。地域連携室やMSWと密な連携が取れるようオープンスペースになっており、お互いが顔の見える情報共有しやすい環境にあります。

入院支援として看護師1名を専従として配置し、まずはパス適応の予定入院患者に対し、入院説明や情報収集、入院時のご案内と病棟への申し送り等を担当し、外来から入院までの連携をしております。

退院支援についても1名の退院支援専従看護師を配置しております。入院時の早い段階から退院後の生活がイメージできるよう、担当看護師と退院支援看護師が面談し、患者・家族の意思決定支援を行うとともに多職種と連携し、退院後も安心した生活ができるよう支援をしております。地域医療と介護の切れ目のない支援ができるよう今後も体制強化に努めてまいります。



地域とのつながりを大切に



平鹿総合病院
地域医療連携室
看護副師長

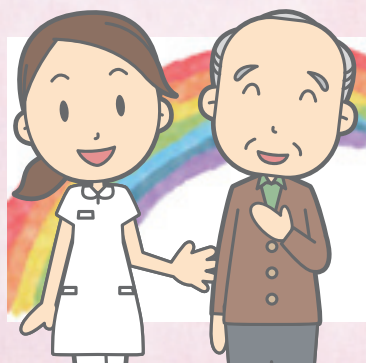
大日向 久美子

地域医療連携室が開設されて今年で15年目を迎えました。「共に診る・共に支える地域医療」を指針として掲げ、医療・保健・福祉の動向に目を向けながら前方・後方連携、広報活動、セミナー企画などの事業に取り組んでおります。

当院は同じフロアに、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、入退院支援センター、医療福祉相談室が設置されております。それぞれの役割を発揮し、当院の強みを地域医療・介護に活かすことで、医療—医療連携、医療—介護連携が円滑に進むよう協力体制を整えております。

今年度は、地域の看護の力を高め、ケアの質の向上を目的とした看看連携交流会を開催しました。交流会では、療養の場所が変わっても患者さんに継続した医療、看護を提供するためには、顔の見える関係づくりや情報交換、多職種との連携の大切さを再認識しました。

私達連携実務者は、多くの人との出会いが自身の成長の糧と言われております。地域の皆様に愛され、共に歩んでいけるよう、院内・地域の橋渡し役としての役割を遂行してまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



第6回連携フォーラムひらか

「連携フォーラムひらか」は、横手・平鹿地区の医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に、平成24年より開催されています。今年で第6回を迎え、地域医療機関の先生方との親睦を深める機会として定着してきました。今年度も3名の先生方に日頃の診療状況や病診連携についてご講演をいただき、「毎日の診療に役立ち、大変勉強になった。」と参加者の好評を得ました。

- 開催時期：平成29年6月9日(金) 18時30分より
- 場 所：横手セントラルホテル ラポート
- 参加人数：63名
- 講演：1) 当院における肺がん診療の現状
外科 科長 川原田 康
- 2) 当院循環器内科における
心臓デバイス治療について
循環器内科 科長 深堀 耕平
- 3) 当院における病診・診療所間の連携について
小田嶋まさる内科 院長 小田嶋 傑
- 意見交換：地域医療機関より当院に対するご意見
横手市医師会 会長 西成 忍
- 懇親会



平鹿総合病院
外科科長
川原田 康医師



平鹿総合病院
循環器内科科長
深堀 耕平医師



小田嶋まさる内科
院長
小田嶋 傑医師



看看連携交流会 「在宅療養患者のQOLの向上を目指して」

在宅療養患者のQOLの向上を目的に、患者の状態に応じた継続的なケアのあり方を検討するため、看看連携交流会を開催いたしました。

初回は、誤嚥性肺炎の発症を予防するため、口腔ケアに着目し、自宅や介護施設における口腔ケアの現状や急性期病院と訪問看護師、施設看護師との情報共有における問題を把握できるよう、認定看護師によるミニレクチャーとワールドカフェ方式による意見交換を行いました。参加者からは、「いろいろな施設の現状を知ることができてよかった。」「明日からできそうなことが多くあり、実践していきたい。』との意見をいただきました。今後も交流会を継続し、在宅療養における看護の質の向上、患者のQOLの向上に努めていきたいと思ひます。

- 開催時期：平成29年8月25日(金) 17時30分より
- 場 所：平鹿総合病院 講堂
- 参 加 者：横手市内の訪問看護ステーション、介護施設に従事する看護師、平鹿総合病院看護師
- 参加人数：46名
- 内 容：テーマ「口腔ケアを見直し、誤嚥性肺炎を予防しよう」
- 1. ミニレクチャー「口腔ケアを見直そう」
平鹿総合病院
脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師 柴田 亮子
- 2. ワールドカフェ
「私ならこうする！口腔ケアの情報提供！」



地域医療連携室スタッフ

室 長	高 橋	俊 明
副 室 長	榎 本	好 恭
医事企画課長	橘	善 幸
看護副院長	大日向	久美子
看護主任	大 沢	知 佳
事 務	中 嶋	秋 子

病院住所／〒013-8610 横手市前郷字ハツ口3番1
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200

[地域医療連携室連絡先]

- 地域医療連携室
TEL：0182-45-6012／FAX：0182-32-0698
- HP：<http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>